

打出浜干潟の生き物を探そう

芦屋市立打出浜小学校 3年生

はじめに

打出浜小学校は、芦屋市の東端に位置し、埋め立て地に建てられた学校です。三方をマンションに東面は海に囲まれており、自然が少ない環境にあります。その中で環境教育の取り組みとして、芦屋川の観察や伊丹昆虫館で昆虫の観察等を行ってきました。3年前に人と自然の博物館の三橋弘宗先生にご指導いただき、学校横の江尻川河口が生き物の宝庫で自然観察に良い場所であることを知りました。



昨年度からは三橋弘宗先生と和田年史先生にご指導いただき、生き物の観察を行っています。

調査方法

今年度の取り組みは活動を4回計画しました。

第1回	6月	「打出浜干潟へ行こう」	場所	打出浜干潟
第2回	7月	「海の生き物について知ろう」	場所	打出浜小学校 視聴覚室
第3回	9月	「カニの標本を作ろう」	場所	打出浜小学校 ピロティールーム
第4回	10月	「ひとくはくで学ぼう」	場所	人と自然の博物館

結果

第1回「打出浜干潟へ行こう」は6月3日（水）に実施しました。干潮時に河口へ下りて生き物を探しました。水のひいた狭い河口に90人の子ども達が行き、石の裏を見たり岸壁の牡蠣を観察したり石をひっくり返したりして、たくさんのカニとヤドカリを見つけました。取ったカニはコンテナに入れていましたが、あっという間にいっぱいになりました。三橋先生と和田先生に、カニがケフサイソガニという名前であることや、牡蠣が海の浄化に役立っていることを教えて頂きました。カニを一人1匹入れ物に入れて持ち帰り、水を入れて冷凍にしました。



感想を読みますと、たくさんカニを捕まえて嬉しかったこと、ヘドロっぽい泥がついて臭ったことやドロドロになったのがいやだったこと、たくさんのカニが居てびっくりしたこと、カニの名前がケフサイソガニと知ったこと、卵を持っているカニがいた驚き、カニにオスやメスがいること、持てなかったカニに触れるようになった喜び等々、子ども達の驚きや発見など貴重な体験になった様子がわかりました。

第2回「海の生き物について知ろう」は7月2日（木）に打出浜小学校へ和田先生に来ていただき実施しました。写真を見せていただきながら、カニやイカなど、海の生き物について勉強しました。感想文には、カニのつくりを図に解説付きで表したり、初めて知った生き物の生態などが書かれており、子ども達がカニやイカなど、身近な海の生き物に興味を持ったことがよくわかります。



第3回「カニの標本を作ろう」は9月17日（木）学校で実施しました。あいにく天気が悪かったので、雨のかからない屋外で作業しました。2種類の液を混ぜて樹脂を作ります。アルコール漬けになっているカニを入れ物から取り出し、樹脂につけて体中が樹脂におおわれているようにした後、タッパーに置きました。その上から樹脂をかけて、カニ全体が樹脂の中にどっぷりと浸かるように樹脂を満たして完成です。自分のカニ標本を作るので、子ども達は三橋先生の説明を聞く時も作業をする時も大変真剣に、そして慎重に行っていました。



感想文には、樹脂を初めて扱うことの大変さと、三橋先生や和田先生の知識に感心したこと、カニの扱いに苦労したことなどを書いていましたが、どの子どももカニ標本の完成をとっても楽しみにしている様子がよくわかる感想文でした。



第4回「ひとはくで学ぼう」は10月23日（金）に人と自然の博物館へ行きました。三橋先生と和田先生に海の生き物についてスライドを使って話をさせていただきました。タカノケフサイソガニとケフサイソガニの違いやダイオウイカの話、カニにはもっとたくさんの種類があることなどを聴き、そのあと、お楽しみにしていた自分のカニ標本をいただきました。話を聞いた後のひとはくの見学は、海の生き物だけでなく、自然環境についてや生き物に対する興味関心が深まった

ようでした。もう一度ひとはくに来てゆっくりと展示物を見たいとか、家の人と一緒に来たい等の感想がたくさん書かれていました。

まとめと考察

江尻川河口は校区にありながら、暗渠になっている小さな川の河口で、普段は子ども達が入らない場所ですが、生き物探しをすることで、たくさんの生き物が棲んでいるという事実を知りました。また、活動時に三橋先生や和田先生に専門的な知識をお話し頂いたことで、干潟や生き物や海に興味を持つ良い機会になりました。人と自然の博物館では、三橋先生と和田先生が楽しくわかりやすく研究されていることや研究成果についてお話をしてくださったので、研究することの楽しさを感じることができました。

このたびの環境教育の取り組みをきっかけとして、子ども達は、通学路から見る打出浜干潟は、潮の満ち引きがあり、潮が引くとたくさんのカニやヤドカリやフナムシがいて、砂の中には貝などが棲んでおり、潮が満ちているときには魚が泳いでいるなど、自然の営みが行われている場所であることに気づきました。登下校の途中で干潟を見て、「水が引いていたよ」とか、「白い鳥がいたよ」とか、「魚が見えたよ」とか、教えてくれるようになりました。興味関心が広がって自分で詳しく調べる子どもも増えました。貴重な打出浜干潟の自然を守るのも、壊すのも人間です。打出浜干潟をきっかけに、自然を大切にする子ども達が多く育ってほしいと考えて取り組んでいます。